

令和2年度 自己評価アンケートまとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっこつか

職員による自己評価(抜粋)

- ・活動スペースの確保は十分にできている。
- ・職員配置数はやや不足の状態である。
- ・研修や事業所内会議、日々のミーティングに於いて資質の向上や、各利用者の状態把握を行っている。
- ・プログラムは日々、職員間で話し合っって偏りが出ないようにできるだけ工夫はしているが、時間等の制約もある中でパターンはいくつかに絞られてきている。
- ・日々の記録のフォーマットを見直し、それを全職員間で話し合いながら書きやすい形に変更した。
- ・父母会や地域の児童館との交流については実施をしていない。
- ・コロナ禍もあり、面談の実施が思うようにできなかった。

保護者による評価(抜粋)

- ・活動スペースは十分に確保されている。
- ・職員の専門性や配置数は適切である。
- ・活動プログラムはある程度固定されないように工夫はされているが、中には偏りが出ていると感じている方もいる。
- ・父母会や地域の児童館との交流は必要ないという意見があった。
- ・個人情報には十分な配慮がなされていて、子どもや保護者との意思疎通もしっかりと行われている。
- ・子ども(利用者)は通所を楽しみにしていて、事業所の支援にも満足ができている。
- ・コロナ禍で面談ができなかったのは仕方ないと感じる。



事業所内での分析

<p>【共通点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースが十分に確保されている。 ・活動プログラムにやや偏りが見られる。 ・父母会や児童館との交流は行っておらず、必要性もあまりないと感じている。 ・各利用者に対しての状態把握を行い、それに沿った形で支援を実施。またそれを保護者と共有する事ができている。 	<p>【相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数として、保護者からは指摘がないが現場としてはやや不足していると感じている。
--	---

事業所の強み

- ・ある程度の専門性や、長い期間務めている職員がいるため、利用者の把握や地域の特徴等を理解した上で支援に当たる事ができる。
- ・日々の記録をフォーマット化した事もあるが、その時々を利用者の様子をしっかりと記録として残せている。
- ・活動の中である程度の職員がその場の状況判断を行い、実施する事ができる。

事業所の改善点

- ・日々の活動の中で行き先や内容がいくつかのパターンに絞られてしまっている。
- ・活動の幅や今以上に安全に活動を行うために、もう1名の職員が確保できればと思うが、募集をかけていてもなかなか集まらず、最終的な固定ができている。

事業所の改善への取り組み

- ・コロナ禍の影響も受け、活動に制限(余暇活動やおやつ作り)が実施できなかったが、今後は社会情勢も鑑みながら実施できたらと考えている。
- ・日々の活動の中でも地域の公園マップなどを活用しながら散歩も兼ねて利用者と共に新規開拓を行っていく。
- ・職員の募集を法人とも相談の上、実施していきながら人員増を図っていく。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
----------	----------	-----

30	19	63.3%
----	----	-------